



出雲市防災安全協会

会報No.24 2018.1【発行・事務局】出雲市消防本部内

平成30年度危険物取扱者試験日程

試験日	受付期間	種別	試験場所
第1回 6月10日(日)	書面申請: 4月12日(木)~4月26日(木)	甲 乙 丙	松江・大田・益田
第2回 6月17日(日)	電子申請: 4月9日(月)~4月23日(月)		出雲・浜田・隠岐
第3回 11月4日(日)	書面申請: 8月27日(月)~9月10日(月)		松江・大田・益田
第4回 11月11日(日)	電子申請: 8月24日(金)~9月7日(金)		出雲・浜田・隠岐
第5回 H31年 2月3日(日)	書面申請: 12月6日(木)~12月20日(木)	乙	松江・大田・益田・隠岐
第6回 H31年 2月10日(日)	電子申請: 12月3日(月)~12月17日(月)	乙 丙	松江・出雲・浜田

防災ゲームをレンタルします!

当協会では、防災ゲームを無料で貸し出しております。ゲームには様々な種類があり、幅広い年代のお子様と楽しく学べる内容となっています。このゲームを通じて、家庭や地域の中で防災の知識を養っていきましょう。ご希望があれば、事務局までお気軽にお問い合わせください。



出雲市幼年、少年消防クラブ、女性防火・防災クラブ指導者研修会

11月25日、出雲市幼年、少年消防クラブ、女性防火・防災クラブ指導者研修会(当協会後援)が消防本部にて開催されました。今回の研修は、各団体の指導者の方に防火・防災に関するゲーム(防災ダック:体を使うゲーム、なまずの学校:クイズゲーム、シャッフル:トランプ形式)を子供たちと一緒に体験していただき、家庭でも楽しく防火防災が学べるゲームを紹介しました。



連絡先

出雲市防災安全協会 事務局
(出雲市消防本部内)
住所: 出雲市渡橋町253番地1
電話: 0853-21-6922
E-mail: bouankyukai@izumo119.or.jp
デザイン・印刷/株式会社クリアプラス

編集後記

俗に犬は3日飼うと何を忘れないといわれるでしょう? 犬は3日間でも餌をもらい可愛がられると、その飼い主への「恩」を3年間忘れないということから、受けた恩の有り難さをいつまでも忘れてはならないという戒めだそうです。皆様から受けた「恩」を忘れず、自助共助の想いを形にすべく本年も邁進いたします。



消火競技大会女子の部

新年のご挨拶

出雲市防災安全協会
会長 石川 寿樹



平成30年の新春を迎え、会員の皆様には謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

平素より当協会の運営につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は埼玉県三芳町において発生したアスケル倉庫火災、横手市、北九州市及び豊中市において発生した共同住宅火災等の人為的な災害や、7月に発生した九州北部豪雨に代表されるような豪雨、台風による自然災害が各地で発生しました。

また、一昨年の年末に発生した糸魚川市大規模火災から1年が経過しましたが、気象条件によっては、密集地火災において被害が非常に大きくなることを露呈したものでした。

出雲市では、昭和38年小伊津火災、昭和55年代官町火災、平成7年美保火災、平成15年大津火災、平成27年日御碕火災等の密集地における大火が記憶に残っているところですが、昨年10月には湖陵町において8棟が焼損する火災が発生しており、改めて密集地における火災予防の必要性を感じております。

このような状況から、火災のみならず、地震や集中豪雨などの自然災害に対する未然防止あるいは被害軽減のためにも自主防災体制の確保が必要と考えます。

そのためには、防災関係機関、各種団体等からの幅広いご協力を賜るとともに、会員相互の親密な連携のもとに自主防災体制の充実を図り、「安全安心の出雲」を作り上げるため積極的に推進して参りたいと思っております。

本協会では、防災メール、視察などさまざまな情報を発信し、その一助となるべく活動して参ります。最後になりましたが、皆様のご健勝とご発展をお祈りしまして、新年のご挨拶といたします。



消火競技大会

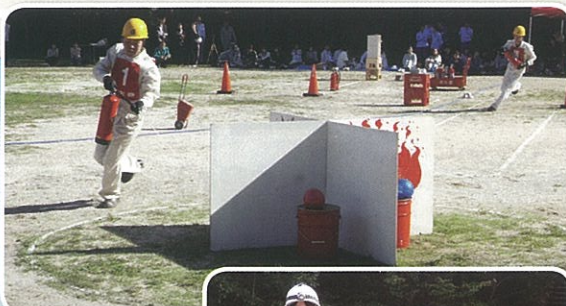


10月4日、秋晴れの空のもと、出雲市今市町の一ノ谷公園で消火競技大会が開催されました。

これは市内にある様々な職種の事業所が参加するもので、消火器を迅速・的確に使うことを競う大会です。

今回は第25回の記念大会として、消火器（女子の部）を創設し、男子の部には20チーム、女子の部には17チームの参加がありました。

なお、大会結果については、下記のとおりです。入賞された事業所の皆様、おめでとうございます。惜しくも入賞を逃された事業所の皆様、今回の結果をバネに、ぜひ次回も参加いただき入賞を目指してください！



消火器（男子の部）

- 1位 株式会社出雲村田製作所
- 2位 ヒカワ精工株式会社
- 3位 島根県農業協同組合ラピタ本店

消火器（女子の部）

- 1位 株式会社出雲村田製作所B
- 2位 株式会社出雲村田製作所A
- 3位 島根県農業協同組合ラピタ本店

個人賞（男子の部）

- 指揮者 株式会社島根ワイナリー
- 1番員 株式会社イズミ
- ゆめタウン出雲

個人賞（女子の部）

- 指揮者 株式会社出雲村田製作所A
- 1番員 島根大学医学部



男子の部 優勝



女子の部 優勝

優勝されたチームの二人に感想を伺いました。

男子の部 優勝 出雲村田製作所
指揮者 江橋 義人さん（写真左） 1番員 本田 翔さん（写真右）

優勝できて嬉しいです。社内選考から、この大会に出場して消防士さんを倒すことを目標にできました。今後は、平日頃から災害が起こらないように、日々の生活から安全に努め、職場では率先して指導していきたいです。異常が発生したら、出雲市で一番初期消火が早いという経験を生かし、初期消火に努めたいです！

女子の部 優勝 出雲村田製作所B
指揮者 高尾 真友さん（写真中央） 1番員 土江 琴美さん（写真左）

緊張しましたが、楽しかったです。練習の成果が出せて優勝できてよかったです。消火器を使用した訓練はいい経験になりました。今後は、有事の際は誰よりも早く火を消します！（誰よりも早く通報します！）

県危連表彰受賞

6月28日、浜田市の「いわみーる」を会場に、島根県危険物保安協会連合会による危険物保安関係功労者の定例表彰式がありました。安全かつ堅実に危険物を取り扱ってきた個人や事業所に贈られるこの栄誉を、当協会からは事業所の部で2事業所、個人の部で2人が表彰されました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

また、表彰式の後は、元東京消防庁職員で危険物に長く携わってきた樋口忠之氏による安全講演会がありました。「市民の安全と危険物」と題して軽妙な話術と飽きさせない内容で、あっという間の90分でした。

さらなる安全安心の向上をめざし、危険物への心構えを新たにしました。



事業所の部

- ・出雲運送株式会社 様
- ・出雲寿観光有限会社 様

個人の部

- ・原石油株式会社 原 弘司 様
- ・株式会社渡部製鋼所 安田 拓 様

視察研修開催

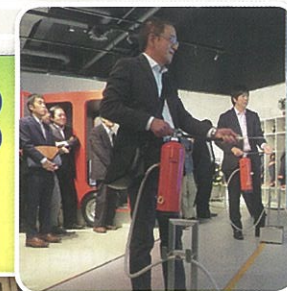
10月26日（木）・27日（金）



視察先 ひめじ防災プラザ（姫路市）
株式会社モリタ三田工場（三田市）

ひめじ防災プラザは「防災情報ゾーン」「災害体験ゾーン」「防災体験ゾーン」の3つのゾーンで構成され、「災害のメカニズム」を体感することができました。

株式会社モリタ三田工場は、はしご車をはじめ数々の高機能消防車等、最新鋭の設備を誇るアジア最大級の消防車製造工場でも興味深いものでした。



ひめじ防災プラザ

視察研修に参加して

今回多くの方に参加いただいた中から3名の方に感想を伺いました。

- Q1：何が印象に残りましたか？
- Q2：今後どのような備えが必要でしょうか？

出雲防災商事有限会社 嘉藤 考一さん



Q1のA 「ひめじ防災プラザ」での避難体験が印象に残りました。煙が蔓延している中での移動は視界も塞がれ、本当に低い姿勢でないと移動できないのが理解でき本当の火災現場だったらと恐ろしくなりました。

Q2のA 私の会社が消防設備に関わる仕事で色々な事業所様の避難訓練等に立会する事も多いです。火災の際に口をハンカチで押さえる事、低い姿勢で壁伝いに歩く事を学びました。今回の体験を社内でも共有し微力ながら得意先の皆様へ情報発信し生命と財産を守るお手伝いができたらと思います。

遠藤燃料工業有限会社 遠藤 寛さん



Q1のA 株式会社モリタ三田工場での消防車です。はしご車、ポンプ車を中心に基本的に受注生産されていて、活躍する地域のニーズに合った物が手仕事により作られていました。日本のみならず全世界から注文を受け、中でも林野火災に対応して作られたコンセプトカーの「Wildfire Truck」は誰が見ても格好良いと思わず言ってしまう様な消防車でした。

Q2のA 弊社はLPガス供給を行っていますが、出雲市とも協定を結び、災害発生時は最寄りの行政と地域連携を図り、迅速に対応することを災害訓練で行っております。今回の視察研修により異業種間の親睦も深めることが出来ましたが、防災安全協会の会員様の輪を今以上に広げ、有事の際には会員様だけではなく出雲市全地域が連携を図れるような街づくりが必要だと考えております。

島根県立中央病院 尾添 大助さん



Q1のA ひめじ防災プラザでの防災学習です。普段であれば何も感じないような通路や扉が避難時には大きな障害となり得ることを改めて感じました。阪神大震災という大災害を経験した姫路市がどのように防災対策を講じているか学べたことも収穫でした。

Q2のA 私の勤務先は被災時にも医療を提供する災害拠点病院です。予測できない災害に対する施設や物資への備えも大事ですが、職員が高い防災意識をもつことが重要だと考えています。今回の研修で得た視点を防災訓練や研修に生かすことで、より高い意識の醸成を図ってまいります。

出雲駅伝に救護班として参加

10月8日、日本三大大学駅伝のひとつ「第29回出雲全日本大学選抜駅伝競走大会」が開催されました。協会からは各中継所に救護班として、応急手当の資格を持った8名の救護ボランティア員が参加しました。10月でありながら、日差しも強く気温も高かったため、ランナーがゴール前に倒れこむ場面、ゴール後に体調不良を訴える場面等が続出し、救護班は懸命に対応しました。いざという時の備えを再認識しました。

